



橙組・緑組・青組だより



7月号

蒸し暑い日が増え、夏の訪れを感じる季節となりました。水遊びやどろんこ遊び、体育指導では、プール指導も始まり、子どもたちは笑顔いっぱい楽しんでます。また、異年齢のお友だちとの関わりも深まり、一緒に遊ぶ中でさまざまな刺激を受けながら過ごしています。これから、ますます暑くなりますが、体調管理に十分気を付けていきながら、水分補給や休息をしっかりと行い、夏ならではの遊びや発見を楽しみながら元気に過ごしていきたいと思ひます。

7月の ねらい

○だいたい組

- ・夏の生活の仕方を知り、身の回りのことを自分でしてみようとする。
- ・水や泥などの感触や心地よさを味わい、夏ならではの全身遊びを楽しむ。
- ・異年齢で過ごすことに慣れ、興味がある遊びを一緒にしてみる。

○みどり組

- ・夏の感染症や過ごし方に留意し、健康的に過ごせるようにしていく。
- ・生活や遊びの中で約束事やルールがあることを知り、守ろうとする。
- ・友だちとのやりとりを通して、自分の思いを伝え、相手の思いにも気づく。

○あお組

- ・活動と休息のバランスを取りながら健康的に過ごせるようにしていく。
- ・夏ならではの遊びを通して、友だちと工夫したり試したりして、言葉を交わしながら思い切り楽しむ。
- ・自分らしさを発揮しながら、考えたり、表現したりして遊びを楽しむ。



6月1日より、3歳児橙組に1名、新しいお友だちが入園して橙組は12名になりました。一緒にたくさん遊ぼうね！



●衣類について●

お子さんが自分で着脱しやすいサイズ、**記名**を必ずお願いします。
また、下記の内容は控えていただくようお願いします。

【Tシャツ】

脇が見える・袖がついていない
チュニックや丈の長いもの

【ズボン】

膝がでている・下着がみえる
紐付き・スカート付き

●連絡帳について●

- ・**在宅勤務、お休み**の場合は、連絡帳に必ずその旨をお知らせください。
(何かあったときに連絡が取れないと困るため)
- ・体調不良でお休みをされる際には、**熱や症状など簡単に詳細を入力**していただくようお願いいたします

3歳児クラス だいたい組 『大好きな、体育指導』

毎週金曜日の体育指導をととても楽しみにしている子どもたち。講師の先生の姿が見えると、「〇〇先生きたー!」と嬉しそうに知らせてくれます。体育指導が始まって3か月が経ち、少しずつ1列に並べるようになったり、準備体操では講師の先生の動きを真似したりと、成長した姿がたくさん見られるようになりました。活動では、5段の跳び箱の上からジャンプしたり、傾斜のある平均台を渡ったりと、少し難しいことにも意欲的に挑戦しています。初めはドキドキしていた子も、友だちの姿に刺激を受けながら「やってみよう!」という気持ちを膨らませています。そして、挑戦したことができた時には、「できたよ!」「先生、見て!」と、とびきりの笑顔で知らせてくれます。難しいことにも挑戦してみようとする気持ちや、「できた!」という達成感を味わう経験は、子どもたちの大きな自につながっていくことと思います。これからも一人ひとりの挑戦する気持ちを大切にしながら、できた喜びを子どもたちと一緒に分かち合っていきたいと思います。



4歳児クラス みどり組 『まちにまったプール!』

橙組さんの時から緑組さんと青組さんがプール指導になっているのを羨ましそうに見ていた子どもたち。緑組さんになっていよいよ『プール指導』ができることがわかったと、とても嬉しそうにしていました。

初めての『プール指導』の前の着替えでは、水着を早く見せたい気持ちが溢れていたようで、思っていたよりあっという間に着替え、身支度を終わられていた子どもたちに驚いてしまいました。

『プール指導』は、2回にわけて行っています。プールの中に入ると「つめたい!」「きゃ〜」と入れることを喜んでいました。講師の先生と一緒に少しずつ水に慣れるために体や頭に水をかけたり、口を水面につけて、「ぶくぶく…」としたりしています。意外と「ぶくぶく…」が難しい様子で水を吸い込んでしまったり、目線が水面ギリギリの視界になるため、怖い…という感情が生まれやすいようです。子どもたちができる範囲で少しずつ、少しずつ挑戦しています。今の時期ならではの体育指導を少しでも『たのしい』と感じながら参加しながら水に慣れていけたらと思っています。



5歳児クラス あお組 『今日は何をするのかな♪』

青組になってから月に1回ある「かがくタイム」を子どもたちはとても楽しみにしています。

4月は「磁石」、5月は「鏡」、そして6月は「音」について興味を深めた子どもたち。講師の先生が紙芝居と合わせて、段ボールの向こう側から様々な音を出して楽しませてくれました。紙芝居が終わると、どんな道具を使って音を出しているのかを考える子どもたち。「太鼓だよ」「なんかゴシゴシこすってみたい」「マイクかな?」など、自分の言葉で自分の考えを口にしていました。講師の先生や担任がいつも伝えてきたこと「自分の考えは大切にしている」が浸透してきたように思います。答え合わせで実際に音を出してもらおうと「やりたい!」とウズウズ。全て試すことができ、それぞれ気に入った音を見つけた子どもたちは、それを使ってみんなで紙芝居をして楽しみました。「かがくタイム」では、子どもたちが考えたことを実際にやってみることを大事にしています。これからも、子どもたちの考えややってみようとする気持ちを大切にしていきたいと思います。持ち帰ったものは是非ご家庭で一緒に楽しんでください。

